

静岡松涛タイムス

発行元：静岡県本部広報部 責任者：滝田 宏平
 連絡先：0547-36-1238(TEL) 0547-36-1293(FAX)
 E-mail: kouheichan@tiara.ocn.ne.jp
 URL <http://www.shizuoka-karate.com/>(公式HP)
<http://www4.tokai.or.jp/sougou/>(広報部)



静岡県本部主催 平成 21 年度 6 月期昇段審査会 執り行われる

6月21日(日)に、定例の「昇段審査会」が静岡県本部の主催によって執り行われました。今回「黒帯への登竜門」に挑戦したのは、県内の各道場での厳しい修業を積んだ、小学1年生から一般まで52名が挑戦しました。会場となった静岡市北部体育館では、審査に備え午前中に受験者講習会も開催されて受験生は真剣な表情で受講していました。また、本講習会では上級者向けの有段者講習会及び将来的に黒帯を目指す有級者講習会も併設され、スキルUPを目指す多くのメンバーが参加しました。審査の結果、新たな黒帯となった合格者は、次の通りです。



【少年初段】

鈴木 玲奈	小長井 倫	西島 有紀	木村 真也	渡辺 麻央	兼高 泰河	三浦 豊人	永島 達哉	花村 兼汰	小川 生能
紅林さくら	望月 茜里	橋本 大輝	狩野 友汰	川村 夏	壁谷 峻平	堀井玲士哉	中野 恭真	鈴木 涼平	池谷 佳澄

【一般初段】

高木 康子	小口 智之
-------	-------

【少年弐段】

牧野さつき	大畑 唯夏	小長井美海
-------	-------	-------

合格おめでとうございます！

第 10 回東海北信越地区空手道選手権大会開催される

夏本番を目前に控えた7月5日に藤枝市の静岡県立武道館で東海北信越地区空手道選手権大会が開催されました。5年ぶりでの静岡県開催となった東海北信越空手道選手権大会も今年で第10回目を迎え、本県出場者からも大勢のエントリーがあり、いつにも増して活気のある大会となり、試合に臨む選手にとっても、たいへん心強かった事と思います。試合前の練習では、参加各県各道場の選手が、気持ちの入ったウォーミングアップをはかっておりました。低学年ながらも腰の入った追い突き、鋭く力強い平安五段、速くキレのある順路型等、思わず当道場の子供達も目を奪われる程の気迫でした。さすがに各県を代表して参加する選手達です。よい経験になり、何倍もの修練に値すると思われました。型の試合においては、中学年・高学年以上に難易度の高い型が多く見られました。観空大・小、五十四歩大・小、雲手・莊鎮等、皆十分に稽古を積んできたことにも驚きを感じます。大会で力を発揮できるというのは、それ以上に真摯に取り組んできたからでしょう。黒帯を取得してからの一步・二歩は子供にとっても大人になっても大きな課題であります。翻って考える・何の為の何かを考える、他人から学ぶ。実現するための試行錯誤なくして歩を進めることはできません。力をつける為に、他の道場生と稽古を共にしたり、他道場の先生方にも積極的に触れ、多くの刺激を受けることも大切だと思いました。伸びやかに演武する選手達を見て、我が身を今一度振り返った一日となりました。最後に、今大会は東海北信越地区の六県合同開催ということもあり、県勢の試合の際は道場を越えて皆応援して下さいました。共に喜べる人達がいるということは本当に嬉しいことです。共に学び、共に励み、また刺激しあうことの楽しさを感じることであった収穫の多い大会となりました。あらためまして、大会を運営していただいた静岡県本部の先生方をはじめ、審判団の先生方、コートサポートしていただきました県内各支部のスタッフの皆様方に感謝いたします。(レポート：塚本真理子 安倍川支部)



大会主催本部発表の試合結果は県本部公式ホームページ・広報部ホームページをご覧ください。

目指せ全国！特別強化練習

全国大会を2週間後に控えた7月19日(日)に、静岡市北部体育館にて、静岡県本部による強化練習がおこなわれました。この強化練習は、全国大会に出場する選手のみ参加資格を有し、当然の事ながら非常に中身の濃い内容となりました。午前中は型がおこなわれましたが、平安・順路の型から選定型まで、普段の稽古の確認をするかのように、全員が真剣に練習しておりました。また低学年では、さらに細くクラス編成され、それぞれに練習が進められました。午後からは組手の練習となりましたが、基本練習の後に実際に審判を立たせての実戦がおこなわれました。年々進化するテクニックに対応すべく、指導陣のアドバイスが随所で見られ、選手達は熱心に聞き入っておりました。本日の厳しい練習に耐えた出場選手達には、全国大会にて静岡県代表として、大活躍をしてくれることを願っております。(レポート：広報部 秋山高士)



第10回全国空手道選手権大会

額からしたたり落ちる汗、ほてった頬、幼年から小学生を中心とした子供達が一生懸命に稽古をしています。蒸し暑い真夏の夜の稽古に積極的に参加する子供達、片や涼しい冷房の効いた部屋でゲームをしている子供もいるのと思うと、一瞬胸が熱くなる思いです。子供の中には、いやいや来る子もいるし純粋な気持ちで空手が上手になりたいから頑張るんだという子供いると思います。そんな子供達には、人の痛みを知り礼儀をしっかりとわきまえる正義感あふれる人間になってほしいと思っております。日頃の稽古では「1つ叱って3つ褒める」良い所を伸ばしていく指導を心掛けていきたいと思っております。私は今年も東京代々木で開催された第10回全国空手道選手権大会に、支部の選手のサポーター兼選手で参加してきました。今年で本大会も開催10回目を数え、節目の記念大会となりました。今年は世界各国より参加があり、国際大会として大会を更に盛り上げました。私は試合を観戦して出場選手のレベルの高さに驚かされました。同じ学年の子供がやっているのに、「どうしてこんなにも、また何が何処が違うんだろう？」と私なりに考えてみました。結果はやはり日頃の稽古で、師範の先生が最も重点を置く「基本」だということに気が付きました。前屈が正しい形ででき、足腰の移動が正確であり、あるべき所に拳が収まる、正しい形で型ができる誰が見ても美しく力強い型！そのような演武を目の前で観戦することができ、私自身たいへん勉強となった大会となりました。このような空手を目指し一步一步進みたいと思っております。今後も日頃の稽古を今一度見つめ直し、更に精進していきたいと思っております。(レポート：藤枝精誠館支部 柴田聖子)



今大会も静岡県を代表して松永・水上両師範をはじめ大勢の先生方が大会にエントリーされ素晴らしい成績をあげることができました。JKS 国内最高齢の現役選手として出場された水上師範は「僕は生涯現役だよ」と、サラっとおっしゃいました。また松永師範は、空手界に於いての永年の功績により日本空手松涛連盟会長賞を受賞されました。

2009 第 4 回夏季合同合宿

去る 8 月 29 日～30 日の 2 日間を、焼津市の「静岡県立焼津青少年の家」に於きまして合同強化合宿を行いました。約 150 名の生徒・指導員の先生方と、厳しい中にも楽しい 2 日間を過ごすことができました。初日の 29 日は天候にも恵まれ青空の下、それぞれが荷物を背負いながら、午前 9 時にオリエンテーションルームへ入り、入所式を行いました。参加者は 14 のグループを結成し、各グループ毎にリーダー(部屋長)を置き、規律と先生方の支持を守るよう約束事をして 10 時 30 分から全体基本稽古に入りました。12 時の昼食はボリュームたっぷりの「ハヤシライス」でした。トッピングに野菜・肉団子・フライドポテト等「食べきれないよう！」などと云う声があちらこちらで聞こえました。でも皆さん完食していましたね！午後 1 時から 4 階の大体育室にて基本・型・組手の強化稽古に入り、水分を補給しながら午後 4 時まで頑張りました。その後は、各自決められた部屋に一旦戻り、小休止してから、集いの広場にて「夕べの集い」が行われました。団体の紹介やスピーチや旗の降納・青年の家所員によるお話等がありました。夕食後、入浴を済ませたら 2 階視聴覚室にて、空手道の歴史や道場訓・1 本と技有りの違い等、1 時間強の講義を皆さんメモを取りながら静かに聞き入っていました。2 日目は朝 6 時 30 分起床、朝の集いとラジオ体操・各部屋に分担された清掃区域をきれいにした後、バイキングスタイルの朝食となりました。9 時から大体育室にて、型・組手の稽古が試合形式にて進められました。本日の昼食は「焼肉丼」1 泊 2 日でボリュームたっぷりの食事が 4 食！さぞかし体重が増えたでしょう！午後の稽古は、午前の残りを消化してからゆっくりと身の回りの整理整頓、その後 3 時に退所式が行われました。夏休み最後の合同強化合宿で、楽しい思い出と友達をたくさん作ってくれたことと思います。最後になりましたが、各支部長先生をはじめ、指導員の先生方には大変御世話になりました。お陰を持ちまして何事も無く、無事に合宿を終了出来ました事を心よりお礼申し上げます。(レポート：焼津将陽館支部 菊地将元)



静岡県本部主催 平成 21 年度 9 月期昇段審査会 執り行われる

9 月 13 日に、静岡県本部による「昇段審査会・技術講習会」が、静岡市郊外の静岡北部体育館にて執り行われました。午前中はクラス分けした技術講習会が行われました。上級者向けの有段者講習では、講師の荒井徹師範より「生きた(活かした)型を打つ為の技の鍛錬」についての解説があり、実際に人を立たせて荒井師範自ら手本を示していただきました。平行して受験者講習・有級者講習も行われ、受講生は皆さん真剣に参加しておりました。午後は審査会となりましたが、審査会の冒頭、稲毛隆本部長より「正しい立ち方ができていない人が多すぎます。そのような方は良い結果がでません」と厳しい指摘がありました。審査の結果、新たな黒帯となった合格者は下記のとおりです。

【少年初段】

児玉 麗心 (精誠館)	藪崎 水葉 (焼津)	鈴木 実桜 (精誠館)	和泉 響 (大井川)	畠山 真輔 (静岡)	石井 桜果 (西焼津)	酒井ひかる (大井川)	大長 悠悟 (青島)	赤堀 倅汰 (精誠館)	堀井亜珠花 (精誠館)
藪崎 美紅 (精誠館)	小田 恭祐 (瀬戸谷)	岡崎 考亮 (静岡)	山田あやの (精誠館)	渡辺 大輔 (静岡北)					

【一般初段】

大須賀叶亮 (将陽館)	小野田真波 (精誠館)	横山 明 (静岡南)	小野 俊一 (健康空手)
----------------	----------------	---------------	-----------------

合格おめでとうございます！



静岡県西部地区空手道大会

高く、そしてどこまでも抜けるような秋空の下、10月4日(日)に菊川市堀之内体育館にて、第10回西部地区空手道大会が盛大に開催されました。西部地区といえば、県内でも屈指の強豪地区として知られていますが、その地区大会に、稲毛隆静岡県本部長をはじめ、県内各地区より大勢の先生方が応援に駆けつけました。また、今大会はSBS静岡放送の後援ということもあり、局よりTVクルーが取材に駆けつけるなど、第10回の記念大会を更に盛り上げました。開会式前に、参加各道場にわかれて選手がウォーミングアップをおこなっていましたが、フロアの一角で一般部に出場する若手グループを見かけました。選手に聞いてみたところ、浜松市に拠点を置く「静岡文化芸術大学空手道部」のメンバーだという事でした。その中で一心不乱に車椅子空手の試合前の調整に集中している選手を見つけました。選手の名前は、藤田隆永さんです。同大学空手道部に所属する藤田さんは、身体にハンデを負っていたのですが、そんな事を微塵にも感じさせない気迫とパワーを持って試合に臨み、強豪選手を抑えて堂々の優勝に輝きました。

藤田さんは午後の競技前にも、参加全選手や大勢のギャラリーを前に模範演武を披露していただき、割れんばかりの拍手と大歓声の渦が会場を包みました。演武を終えた藤田さんの顔には笑顔が戻り、そして彼を支える文芸大空手部メンバーの輪に、人としての暖かさを存分に感じる事ができました。また、同大学以外でもあきらかに昨年より、一般有級者の出場者が多いことに気がつきました。社会人になり空手を始めた成人の方・道場に通うお子さんに刺激され空手を始めた父母の人達等、様々な動機があることと思いますが、これは各地区各支部での地道な活動の効果が、確実に現れていることを証明しています。また、そのような人が選手として大会に出場できる環境整備が、幅広い年齢層の参加を促しているのです。全ての事に言える事ですが、多くの参加は全体の活性を上げ、底辺を広げ、そして頂点をより高いものにします。毎年、常に優秀な結果をもたらす原動力、それが静岡県西部地区大会・西部地区各支部に所属する松涛連盟空手道拳士なのかもしれません。(レポート：広報部 秋山高士 安倍川支部)



2009 第 9 回将陽館空手道大会



支部発足から10年が経ち、今回の将陽館大会も9回目を迎える事ができました。毎年夏休み(8月)最後の日曜日に開催していた支部大会を10月11日に焼津将陽館本部道にて焼津道場・掛川道場・菊川道場・浜松道場より70名の道場生が参加し大会が行われました。県大会、東海大会、全国大会上位入賞者に将陽館優秀選手賞の表彰を行いました。優秀選手も18名と多く、大会参加者も年々多くなり大変喜ばしい事があります。初めて大会に参加する子供たちなど、いつもと違う顔つきで力一杯 型、組手で戦い、勝って「ニコニコ」負けて「泣いて」いろいろでした。こんな事が今後の稽古の糧になり成長するのでしょうか！来年は第10回の記念大会を盛大に開催したいと思います。今後も将陽館 頑張ってください。県内松涛連盟の皆様、これからもよろしく願いたします。(レポート：浜松将陽館支部 菊地伸幸)

【静岡県松涛タイムス第39号編集後記】

県本部定期機関紙の松涛タイムスが、本号からリニューアルしました。今回は6/21昇段審査会～10/11将陽館大会までを掲載しました。県本部公式事業や各種大会はもちろんですが、各支部大会や支部間交流戦・各地域でのイベント等も積極的に取材・掲載していきたいと思っております。現在、国内はもとより海外からもアクセスがあり、多くのお褒めをいただいております。取材の依頼がございましたら是非一報ください。(広報部)

